

九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラムin鹿児島

# 「相談支援センターのステップアップ」 ～周知と共働を目指して～

## 大分県の取り組み



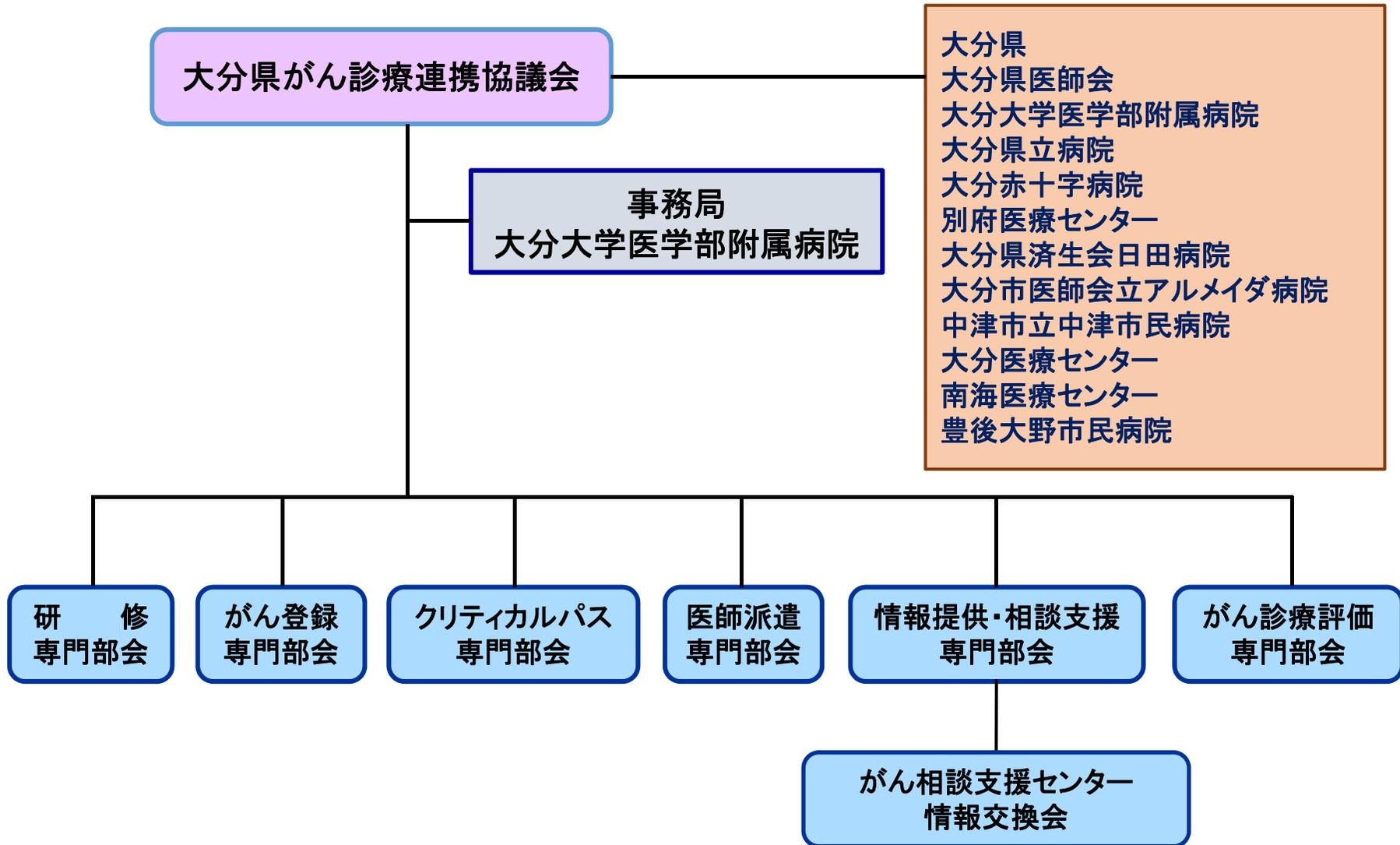
大分版も今年3月に完成しました。

大分赤十字病院  
中津市立中津市民病院

尾立和美  
石川美奈子



# 大分県がん診療連携協議会



# 大分県がん診療連携協議会参加施設

- **都道府県がん診療連携拠点病院**  
国立大学法人大分大学医学部附属病院
- **地域がん診療連携拠点病院**  
独立行政法人国立病院機構 別府医療センター  
大分県立病院  
大分赤十字病院  
大分市医師会立アルメイダ病院  
中津市立 中津市民病院  
大分県済生会日田病院
- **地域がん診療連携協力病院**  
独立行政法人国立病院機構 大分医療センター
- **二次医療圏における中核的な病院**  
地域医療機能推進機構 南海医療センター  
豊後大野市立 豊後大野市民病院

# 大分県 がん相談支援センター情報交換会

- 平成20年6月から開催
- 年に3回実施

日時： 5月、9月、1月の最終週木曜日14:00～16:00

場所： 大分大学医学部附属病院 会議室

- 内容

- ・各拠点病院の活動状況の確認
- ・困難事例の検討
- ・情報提供 など

# 平成26年度 大分県内がん相談支援センターの活動と評価①

活動	評価
<p>1. フィードバック体制 相談者からのフィードバックが得られる方法を検討</p>	<p>施設によって、面談直後の直接確認やアンケートを実施する等の方法をとっていた。県内共通の項目でデータ集計し、評価に繋げていく。</p>
<p>2. サポートブック 大分県がんサポートブックの作成に協力</p>	<p>平成27年3月にサポートブック『おおいたのがんサポートブック』が完成し、各拠点病院に配布された。県のホームページからもダウンロードできる。</p>
<p>3. 就労支援 各拠点病院で対応している内容を共有する</p>	<p>県開催で「がん患者の仕事と療養の両立のための支援会議」が行われた。社労士から病院内での活動希望があったが、費用等の問題もあるため、窓口で相談員が対応を継続していく。</p>

# 平成26年度 大分県内がん相談支援センターの活動と評価②

活動	評価
<p>4. 広報周知活動 冊子・リーフレットの配布、がん相談支援センターの紹介カードの配布、がんサロンの案内掲示など</p>	<p>市立図書館、県立図書館などでがん相談支援センターを紹介する冊子などを置いてもらっている施設もある。施設内だけでなく、地域での周知拡大のための活動を継続していく。</p>
<p>5. がん患者団体との連携 県内の患者会の把握、患者の要望を確認</p>	<p>県内患者会の横のつながりの要望、患者会の情報公開の要望があることなどを県に伝えた。サポートブックにがん患者会の情報が掲載された。</p>
<p>6. 教育・質向上への取り組み 相談員の継続的な研修実施のための検討</p>	<p>平成27年度に県内で相談員指導者研修会を開催することで合意がえられた。指導者を中心に研修等を継続するとともに、相談員の増員を図る。</p>

# 平成27年度 大分県内がん相談支援センターの活動

平成26年度の活動6項目は継続していくが、今年度は特に、【広報周知活動】【教育・質向上への取り組み】を重点項目とした。

## 1. 広報周知活動

- 1) 各拠点病院の冊子、リーフレットを  
県立図書館などに配布・設置する
- 2) 『おおいたのがんサポートブック』を活用し、  
修正の助言、増刷依頼をする
- 3) リレーフォーライフへの参加

## 2. 教育・質向上への取り組み

- 1) がん相談員指導者研修の開催

# 1. 広報周知活動

## 各拠点病院の取り組み

## 市立図書館へがん情報や患者サポートブックなどの設置依頼



中津市立小幡記念図書館



宇佐市民図書館

# 広報・周知活動の工夫

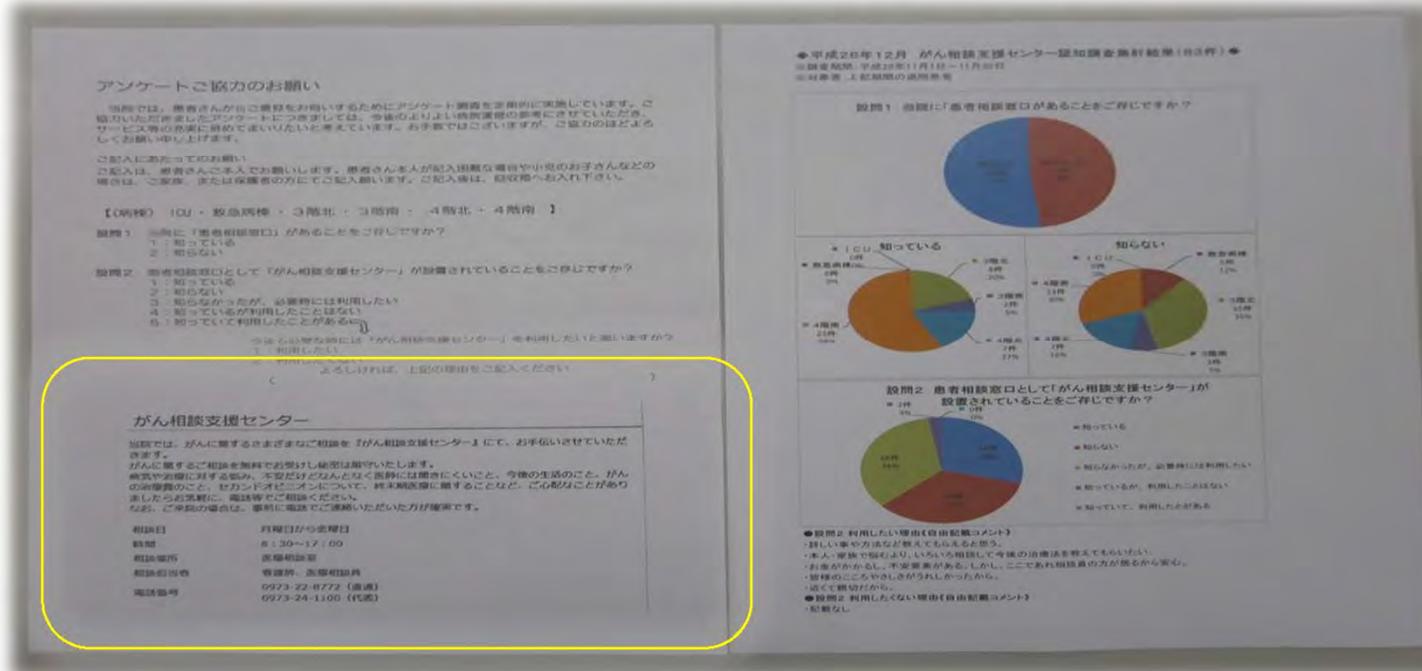
がん相談支援センターについて

アンケート調査を実施中

アンケート内にごん相談支援センターについても記載

調査期間：平成27年11月1日～11月30日

対象者：上記調査期間の退院患者



◆平成27年12月 がん相談支援センター認知調査集計結果(再分析)◆  
※調査期間：平成27年11月1日～11月30日  
※対象者：上記調査期間の退院患者

設問1 退院時「患者相談窓口があることをご存じですか？」



設問2 患者相談窓口として「がん相談支援センター」が設置されていることをご存じですか？



●設問2-利用したい理由(自由記載コメント)

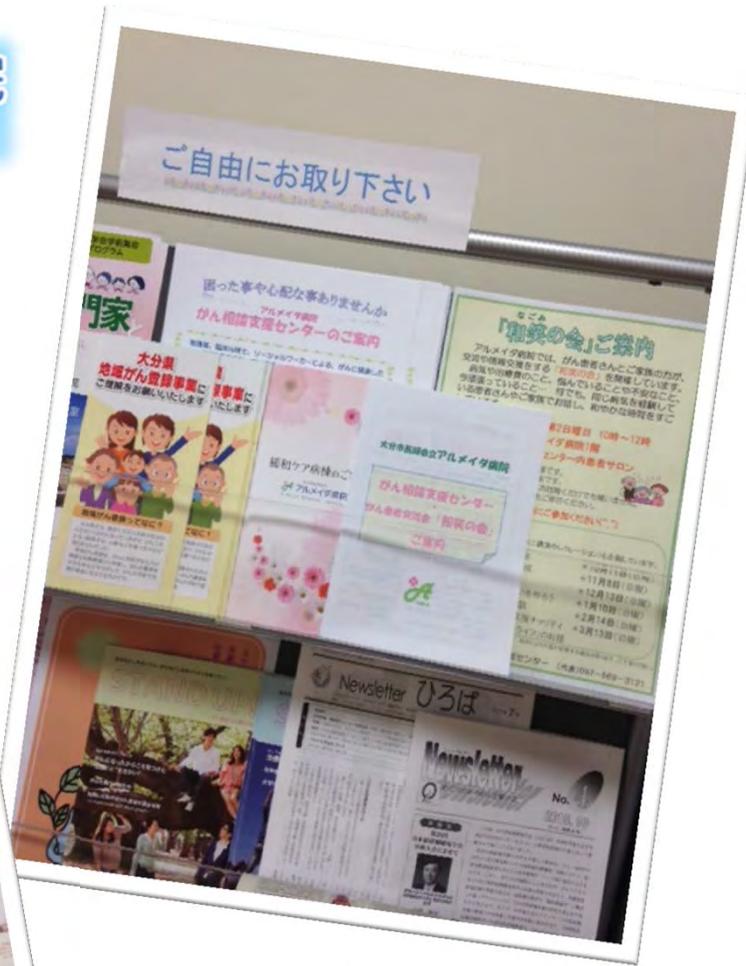
- 詳しい事や方法などが教えてもらえると思う。
- 本人、家族や知り合い、いろいろな相談して今後の治療法を考えてもらいたい。
- お薬がわかるし、不安要素があるしから、ここであれば相談員の方が悪くから安心。
- 理解のこころや、さがうれしかったから。
- 近くて親切だから。

●設問2-利用したくない理由(自由記載コメント)

- 知らない。



大分市医師会立 アルメイダ病院  
Almeida Memorial Hospital



がん相談支援センターと和笑の会のリーフレットを1枚にまとめ、待合室・サロンや病棟の窓口に設置しています。また、必要時は医師・看護師から手渡ししています。



# がん相談支援センター

がんのこと  
 ひとりで悩まない  
 お気軽にご相談ください！  
 ★秘密は守ります  
 ★相談は無料です



がん相談支援センターの受付は玄関となります  
 どうぞお気軽にご相談ください

大分大学医学部  
 相談窓口：がん相談支援センター  
 受付時間：8:30～17:00  
 (土日祝日を除く)

**もったいない空間  
 発見!!**

電話：097-586-6376  
 担当者：専任看護師、医療ソーシャルワーカー  
 必要に応じて当院の専門職

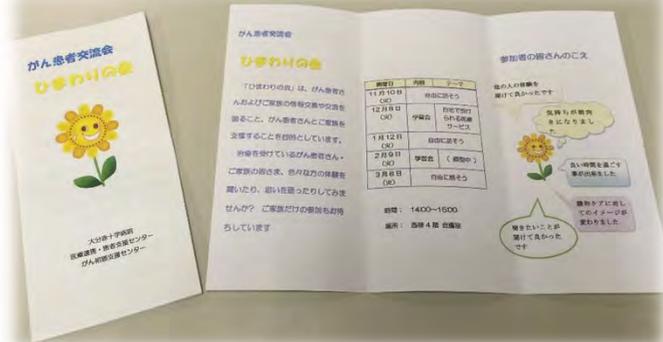
院内での周知

医師・看護師の皆様  
 ～がん相談支援センターをご利用ください～  
 がん相談支援センターへ向かえるところ??  
 病状のこと、治療方法、副作用のこと、食事や運動など日常生活のこと  
 見、疑念・怪念、相談紹介、セカンドオピニオンなど、がんに関すること  
 相談できます。また、不安や気持ちも聞いて欲しいという声にも対応  
 以下のご相談も、センターに相談してください！  
 ・タオル種子の配布(無料) ・ケアラ、ウイークの集積(ハンプレット紙)  
 ・がん患者会(ピアソン)和希会(院内)のご案内…毎月第1金曜日  
**どなたが利用できる??**  
 当院の外来・入院患者さんとのご家族(以前かかっていた方でも可)、  
 他の病院にかかっている患者さんとのご家族、がん患者さんの友人・知人  
**利用方法は??**  
 来院、電話でもかまいません。予約は不要、相談は無料です。  
 通院室で個別相談、もしくは診療科や外来を訪問することもできます。  
 ・患者さんやそのご家族から質問頂いたら、がん相談支援センター  
 紹介カードを渡し、ご紹介ください。

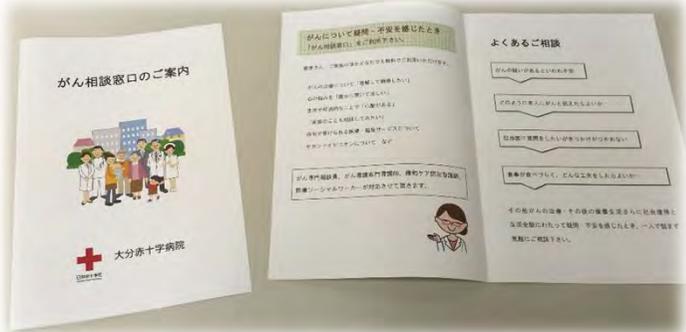


日本赤十字社

# 大分赤十字病院



各科外来待合室、病棟に  
設置しています



外来で、初診時や診断時に  
医師から患者さんにお渡ししています



毎月のがんサロンの様子を  
facebookで紹介しています



## 緩和ケアチームとの連携・協働

「がん患者の苦痛に関するスクリーニング」の結果をもとに、相談介入すべきケースを緩和ケアチームNsと検討しています。

### <目的>

がん患者の苦痛に関するスクリーニングの定着に向けた院内の取り込みを通して、がん相談対応の幅を広げる

### <内容>

- ① がん相談につながりそうなケースについては、外来スタッフや病棟スタッフと連携し、対応している。
- ② スクリーニング結果をもとに介入すべきケースを緩和ケアチームNsと検討し、相談につなげている。
- ③ 「がん看護リンクナース」の会議で患者接近のロープレ講義、がん相談支援センターに関する勉強会を行った。

## 2. 教育・質向上への取り組み

## がん相談員研修開催のご案内

立秋の候、大分県拠点病院 協力のがん相談支援センターがん相談員の皆様におかれましては、お喜び申し上げます。

確認するとともに、「相談員のスキルアップ」を目的として実施することとなりました。

相談業務の中で、対応の仕方についてなどありませんか？  
作るためにも、各施設でがん相談員としてご参加を

連携協議会 相談支援専門部会

がん相談指導者研修修了者を中心に  
企画・実施しました。

がん相談の質向上を目指して、  
継続的に研修を行っていきます。

日時：平成27年11月14日（土）13:00～16:00

場所：大分市荷揚町3-31

アートプラザ2階 研修室

テーマ：「相談員のスキルアップを目指して」

～みんなで支え合おう～

講師：兵庫医科大学 社会福祉学 太松重弘 先生

対象者：拠点病院・協力病院のがん相談実務者

参加費：無料 定員：30名



その他にも…

## 2つの形態でピアサポートを行っています

### 地域型がんサロン 陽だまり

- ・一般的なサロン形式
- ・地域の「応援隊」の方々と一緒に企画・運営  
(サバイバー、東部保健所、日出町の訪問看護師、ケアマネージャー、ソーシャルワーカー、病院看護師など)



### けんこう体操 笑いヨガ (今年7月、サポートグループとして独立)

- ・がん患者だけでなく、どなたにでもオープン
- ・「笑いヨガ」「マインドフルネス」
- ・これまでは病院主催でしたが、がん患者の活動の場としての機能を見直し、7月からサポートグループとしての活動に発展

